



# 介護体験を

## 聞く会



ホームページ  
<http://www.yanagida-kaigo.co.jp/>

### 会報第220号

令和2年5月15日発行

発行所…(有)明寿会

住所…川崎区中島1-13-3

電話044-2333-0061

★5月の介護体験を聞く会は中止

### 「介護体験を聞く会」 4月・5月と中止に

柳田院長による  
ウイルスに関する考察

### 新型コロナウイルス 感染症について

世界的パンデミックについて考える。

人類はスペイン風邪の時のように100年毎に大きな災害に見舞われます。これは人々が地上で生きている上で、人々に課せられた試練のようなものです。今回の新型コロナウイルスによるパンデミック流行にしても世界各国、



朝の日常は数字合わせ

さらに国内全都道府県で感染が続いています。しかし私たちの祖先はこのような困難を乗り越えてきました。特にアジア圏では中国医学をつかって、地上の薬草や鉱物などの自然の素材を利用して数百年かけて自らその薬草をなめたり煮たり飲んだりし、漢方薬という数十種類の複合剤を作って飲んで病氣と闘って克服してきた。

これが西洋医学が化学薬品を創作して地上にはない薬物で病気を克服しようとするのととは違っている。

当院では開業以来漢方医学を中心に活動している。自分の子どもが熱を出したとき、これは良い機会だからと漢方薬を服用させ、翌日には良くなって元気に学校に行った経験があった。それまでは解熱剤が一般的で、治らないうと抗生物質を飲ませ、結局食欲が落ちたり、咳がしばらく続くなど、いわゆる風邪の初期、倦怠感、食欲不振、やっとな熱などのぐずぐずしたコースをたどっていた。

いったはなしを思い出した。高齢者が鼻水を出したり、熱をだしたりしたときも麻黄附子細辛湯などの漢方の風邪薬をつかった。さらに先輩は漢方を使うことで、漢方経営を教えることができた。これは非常に教訓になった。漢方で治療することで早く治り、しかも西洋医学の一錠で500円などもするのではなく、その10分の1くらいは漢方。経営にも優しく、患者にも優しいという漢方の経営である。これは経営者でなくてはわからない。

職員に対しても、中年の職員が風邪ひいたとき、鼻水や寒気があると麻黄附子細辛湯をすぐ出すと比較的に早く治したりしてきた。鼻水がでて背中が寒いなどの表情で処方しても、次の日に平気な姿で仕事に来ることは院長としてうれしいことであった。

利用者はインフルエンザになると、隣の席の方と一緒に生活活動し、集団生活をしている。そうすると隣の方が鼻をかみ、咳がでるとすぐにインフルエンザがうつってしまふ経験をした。こういうことが3、4年前におきた。今度は空気を清浄化する機械を導入した。水



間に合った！お花見に！



を入れたタンクから水蒸気を出して室内を循環させ、空気をミストにしていくとその後から毎年インフルエンザ流行で困っていた事がなくなりました。ここから室内の空気の清浄化の必要であることを学んだ。インフルエンザで発熱しても、肺炎で入院することが解消した。

柳田診療所 柳田 明



## 鯉のぼり作り

4月が過ぎ、外を見渡すとあちらこちらで鯉のぼりを目にしますね。送迎中の通り道の公園にも大きな鯉のぼりが飾ってあり空いっぱい泳いでいます。「あら、鯉のぼりだね。」とご利用者様も嬉しそうに眺めています。デイサービスにも鯉のぼりを飾ろうと、色々な柄の折り紙で作ってみることにしました。折り紙を三つ折りにする係、

鯉のぼりや小物を作ったの



丸に切った白い紙に目玉を書き入れる係、貼り付ける係、尻尾をはさみで切る係と各自で出来ることを分担していきます。「これでいいのかしら。」と戸惑いながらもスタッフと共に頑張って下さり、

たくさんさんの鯉を作り上げて下さいました。次は大量の鯉を紐に吊るしていく作業を。一匹一匹セロテープでとめていくことも、皆さんにとってなかなかの手の運動になったようで、集中するあまり「はー、疲れた。」と声が上がりました。皆さんの努力の甲斐あって、今デイサービスの頭上にはカラフルで可愛らしい鯉のぼりが張り巡らされおり、風に揺られてゆらゆらと泳いでいます。ちなみに鯉は沼や池の泥水の中でも生きていける生命力があり縁起がいいとお話です。短い期間しか飾れない季節の作品ですが、毎日元気よく5月の「鯉のぼり」の歌をうたいながら鯉の生命力をあやかりたいと思います。

柳田デイサービス 工藤

## 知恵と工夫と集中力と

去る4月11日、午後のBCR体操(テレビ体操)が終わり、今日の創作は『リンボーお手玉』です。とスタッフが案内すると「び、びんぼう・・・?」「りんぼう?」「なに?りんぼうって。」それぞれに聞き取った言葉を繰り返されるご利用者さん。リンボーダンスってご存知ないですか?と何うと「ああー。」と頷かれる方はほんの数名で大半の方が「?」でした。さらに動きを加えながら、えつと支柱を二本立てた間に棒を渡してその下を体を反らして潜るので、こんな感じですね。見たことありませんか? この説明でやっと半数近くの方が「ああー!」とわかって下さった様子でした。大まかなイメージをしていただけたとの前提で、ゲームの説明をし、一度



「あら、くずれちゃった！」



実演を見て頂きました。テーブルの上に置いたうちのわの上にお手玉を二〇個積み、棒の下を潜らせませす。棒に引っかかって落ちてしまったり、巻き寄せる途中で落ちてしまったお手玉はカウントされません。(実演では半分近くが棒に引っかかり挟まった状態に。)巻き終わって手元にうちわが来た時その上に残っているお手玉の数が点数になります。一人テーブル一台を縦に使い、先ずご自身でお手玉をうちわの上に積み上げ、納得がいくから反対側に移動し、着席してゲームスタート。うちわの付いた紐の棒を手元で回し、ゆっくり慎重に巻き取っていきませす。お手玉の乗せ方は、一個ずつゆっくりと考えながら乗せる方、

乗せてから高さの調整で潰す方、サツと積み上げる様に乗せる方、乗せてから目線を落とし棒の高さとの関係を確認されている方、うちわの面だけではなく柄にまでお手玉を乗せている方など多彩な獨創性を感じられました。また、「それじゃ落っこっちゃうんじゃない?」「ああ、いいんじゃない?」などお互いアドバイスし合っている姿も見られました。結果は皆さんの知恵と工夫と集中力で続々と二〇個をクリア(落ちた方も数個程)されていらっしやいました。後日の二回目はお手玉の数を三個増やし難易度を上げたのですが案外あっさりクリアされてしまいました。「疲れた。」「面白かった。」「大変だった。」と感想は様々。真剣に取り組んで下さった証だと思えます。これから楽しさプラスご利用者さんに心地良い疲れを感じて頂ける創作をご提供して参ります。

柳田デイケア 三浦

## 防災訓練を終えて

グループホームでは4月25日、防災訓練を行いました。

今回は火災発生を想定し、慌てることなく皆様に屋上へ避難することを目的とし実際に職員と入居者が協力し合い無事に行うことができました。

当日は、午後2時過ぎの皆様がゆっくりとくつろいでいる中、3階キッチンのがスコンロから火が発生!という状況の中で

みるみるうちに火は大きくなり「火事だー!」の声とともにフロアの皆様に火を伝え、急いで近くにいる職員に消火活動を指示、

すぐにキッチン脇に備え付けの消火器を手に火元へ向け噴射(疑似動作)、

しかし初期消火はならず大きな声でフロアの職員へ避難誘導と



まずは訓練の下準備

火災報知器のボタンを押し火災の通報、実際に火や煙こそ出ておりませんが、本番さながらに職員同士で連携をとりにながらフロアから廊下へ、防災扉の外へと入居者の皆様を誘導し混乱や押し合いの無いように階段から屋上へと上がり、点呼から怪我の有無・確認を行い皆様の安全を報告し訓練の終了となりました。

今回の訓練では、実際に如何なる状況でも、慌てずに冷静な判断と的確な行動をとりながら人命最優先での安全な非難を行い、職員同士で常に声を掛け合い、連携を取ること、そして避難口となるドアや階段へ一度に押しかけないこと、急がない、慌てず冷



静に行動することを心掛けて定期的に訓練を行うことが大切であると感じました。

グループホーム 菅野



### 編集後記

新型コロナウイルスの収束の目処がなかなか立たない中、皆さまも様々なストレスもありませんが、生活やご利用をされていると、思います。柳田グループでもマスキングや消毒、昼食時のテーブル配置など、感染対策をしながらの支援をさせていただきます。在宅生活でも、様々なご苦労があるとは思いますが、この事態が一生涯一度きりで二度と来ない様に願うばかりです。今回、対応に認知症編「失禁と用便編」を掲載いたします。日頃、なれば幸いです。柳田デイケア

杉山

### 認知症老人の対応の仕方【失禁と用便編】

具体的行動	良い対応	悪い対応	ワンポイントアドバイス
① たった今体験したことを忘れてしまう ・食事をしたこと ・風呂には入ったこと ・お金をしまったこと	① 老人の気持ちを察してあげる ② 失敗しやすい条件を取り除く ③ 本人が認識できる場所や好きな場所はいじらないで、そのままにしておく	① 「さっきでまたのどうしたの」と責める ② 「さっきここに置いたでしょ」と突き放す ③ 「何処に置いたの、しょうがない人ね」と叱りつける ④ 「そんなものを食べられないでしょ」と無理に取り上げる	・叱らないこと ・叱ると緊張と不安が増大するし興奮してくる、叱るこの人は嫌な人だなあと思う
② スリッパを仏壇に供える	④ わかりやすい目印を付けて上がる ⑤ リズムのある生活をきちんとする ⑥ あまり変わったことはしない	④ 「そんなものを食べられないでしょ」と無理に取り上げる ⑤ 「こんなところになせ置くんですか」と取り除いてしまう	・この人が誰なのかどうしても思い出せない ・覚えがなくなる ・責められると気分が悪いあと感じる
③ トイレットペーパーを細かく切って食べる	⑦ 本人がやれる範囲は本人にさせ、後は手助けをする	⑦ 「私が息子だよ、顔を忘れるなんてまったくしょうがないな」と非難する	
④ 着物を着る順番を忘れる	⑧ こどもの頃の遊びをしてみるなど感情に刺激を与えて不安を取り除いてやる		
⑤ 肉視の顔を忘れる	⑨ 何度でも優しく答えたり、聞いたりする		
⑥ 同じことを何度も聞く	⑩ ガスはすぐ消す		
⑦ 同じことを繰り返して話す			
⑧ ガスを消し忘れる			